委員会から報告します

各常任委員会では付託された議案について、市当局と議員の間で次の質疑が交わされました。
（なお、本文は各常任委員会委員長が執筆したものを編集し、掲載しております）

総務委員会

委員長
三田部恒明（みたべつねあき）

審査案件
議案第86・87・88号

問 総合振興計画基本構想冊子の公表は？

答 情報公開コーナー・総合支所・公民館・図書館等に置き周知を図るとともに、ホームページへの掲載、市広報で概要をお知らせしていきます。

問 様々な施策が来年度より展開されていくが、実施計画の作成は考えているのか？

答 実施計画のかわりに予算事業の実施を行政評価により進行管理し、各部課が前期基本計画を踏まえ予算要求するものです。

問 枠配分方式による予算編成本格導入への試行はどの段階？

答 19年度事業費全体で枠配分を試行、20年度一般財源枠とし補助金等依存財源は別建て。形態について試行錯誤の段階です。

問 本格導入後の補正予算は？

答 19年度総枠での試行、20年度は基本的に決算ベースでの枠配分です。補正の余地は少ないと予想しています。将来的には、各予算枠で、部の責任において、弾力的に執行し、予算抑制については、インセンティブ（意欲）が働きやすい考慮をしてまいります。

問 1億5千万円程度の財政調整基金への12月度積立は大丈夫？繰越金については本年度10％程あるが適正な額は？

答 急遽必要な場合、財政調整基金の取り崩しに補正予算を組みます。繰越明許も認められています。財政的には繰越金は7～8％の範囲で標準です。

問 市議会議員選挙において、管理職への手当は出さない方向？

答 時間外勤務手当額としているため、管理職への手当は支給できません。今後研究していきます。

福祉文教委員会

委員長
加藤　利江（かとう　としえ）

審査案件
議案第83・84・85・86・87・88号
請願第１号

問 最近建設される公民館は、生涯学習センターとなっているが、公民館との違いについて聞きたい。

答 一般的な傾向として、公民館は小規模でも社会教育施設として認定されているものであればよいですが、生涯学習センターは、生涯学習に関する様々なものを備えた複合的な施設で、比較的規模の大きいものです。

問 ボランティア活動についてどのように考えているのか聞きたい。

答 具体的な活動として、現在、社会福祉協議会の岡部支会で、「ふれあいサロン事業」を展開しています。社協としても今後、花園、川本、深谷地区にも広めていきたいです。将来的には障害のある方や子育て支援の方も巻き込んで、地域のネットワークを広げていき、そうした中で地域のボランティアを育てていければと考えています。

請願第１号

意見 反対意見としては、今の外国人学校は、学校教育法の中でも認められていない。また、深谷市総合振興計画基本構想の中でも位置づけられていないとの意見がありました。また、賛成意見としては、現時点で、深谷市の学校で外国人の子どもが勉強するには、言葉の問題等整備が十分ではない。その子たちが本当に学習権をきちんと得られるような助成をしていくのは大事なことであるとの意見がありました。審査の結果、本請願は起立採決により不採択すべきものと決しました。

（本会議では起立採決により賛成多数で採択されました。）

市民環境産業委員会

委員長
宇多村春恵（うたむらはるえ）

審査案件
議案第82・86・87・88・89・96号
請願第４号

問 市営住宅から暴力団を排除した場合、民間アパートに行くと思われるが対応は。

答 暴力団対策法が平成４年に実施され、賃貸借契約の中に暴力団排除の条項を盛り込む取り組みが進められております。トラブルの相談については暴力団専門関係機関への紹介があります。

問 深谷市国土利用計画を定める中で企業誘致を積極的にやっていこうとしているのか。

答 産業誘導エリアを設けて、企業誘致担当を併任だが、３名にし、積極的にやってまいります。

問 川本地区の高品質堆肥製造施設の修繕は年間１億円近いが思い切ったことをする必要があるのでは。

答 取り壊しに３億円、起債残１億５千万円、補助金返還が３億円程度であり、使用料の値上げ等の話し合いをしてまいります。

問 パティオの利用状況は。

答 おおむね25万人程度で毎年推移しております。

問 駅舎１階トイレの便器交換修繕について聞きたい。

答 平成８年に竣工した頃は和式が主流でしたが、現在は洋式が主流のため、一部洋式への修繕です。

問 老人保健と後期高齢者医療との違いについて聞きたい。

答 運営主体が市町村から県の広域連合となります。また、保険料が負担なしから均等割、所得割により個人が支払うようになります。

請願第４号

意見 クレジット被害に遭われる方が最近非常に多くクレジット会社の責任を明確にして法的整備しようということで被害の減少のためにも望むところで賛成である。本請願は採択すべきと考える。

建設委員会

委員長
柴崎　重雄（しばさき　しげお）

審査案件
議案第86・87・88・90・91・92・93・94号

問 道路づくりには、できるだけ安全な道路づくりが重要であり15分アクセスにこだわる理由は。

答 新市の一体感の醸成と地域の均衡ある発展のために15分程度で地域間の移動を可能とする趣旨であります。今後の個別計画の中で路線等を具体的にしていきます。なお、交通安全には十分配慮していきます。

問 中心市街地の活性化のため、事業の立ち上げには、行政だけでは難しいことから、市民へのコンセンサス、団体への声掛け、全員参加型がキーワードであり、トップダウンだけではなくボトムアップも必要ではないか。

答 そうした手法も十分に考え合わせながら、色々なまちづくりを考えていきます。そのため都市基盤整備を進めるとともに、業務核都市にふさわしい商業・文化・情報・サービスや業務等の都市機能の集積を進めていきます。

問 花園処理施設維持管理の内容について聞きたい。

答 県道花園・本庄線の拡幅整備が行われており、その拡幅箇所に中継ポンプがあるため、県から道路敷の外へ中継ポンプ制御盤を移設する依頼がありました。なお工事は集落排水課が執行し、全額県が工事費を負担します。市の会計処理は、県からの歳入とし雑入で処理します。

問 浄水場等警備委託業務の内容について聞きたい。

答 防犯システムにより浄水場内に警報機器を設置し、赤外線センサーにより侵入異常を受信した時に警備会社による巡回点検を行う業務となっています。

〈議会あれこれ「付託ってなぁに？」…議会の議決に先立って、詳しく検討を加えるために議案や請願の内容により、その案件を担当する委員会に審査を委託することです。〉